

〈資料提供〉

令和5年6月30日

県民文化スポーツ部文化振興課

担当：梅本、本間

TEL：076-225-1371（内線3841）

「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川—麗しき美の煌めき—」について

1 概要

石川県立美術館と国立工芸館は今秋、皇室ゆかりの美術工芸品などを収蔵・展示する「皇居三の丸尚蔵館」の収蔵品による展覧会を開催します。第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭「いしかわ百万石文化祭2023」のメイン行事で、三の丸尚蔵館の収蔵品のなかから、石川ゆかりの作品と、日本美術の名品の数々を厳選してご紹介します。詳しくは添付の資料をご参照願います。

2 問い合わせ先

本件の問い合わせは、「皇室と石川」展広報事務局（ユース・プランニングセンター内）

Tel:03-6826-8853 Fax:03-6821-8869 E-mail:ishibi-ncm2023@ypcpr.com（平日10時～18時）

へお願いします。

広報画像は事務局からご提供します。資料末尾の申請書（リリース資料の画像番号と対応）を事務局へ提出してください。

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭 2023

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

皇室と石川 —麗しき美の煌めき—



皇室と石川
麗しき美の煌めき

皇居三の丸尚蔵館収蔵品展

鏡玉女奉和歌
秋ふく樹下隠物水
あふやまたり
われこうあともあが
内大臣藤原卿持鏡
一首
玉運流す女美用向

【金沢本万葉集】藤原定信 12世紀 皇居三の丸尚蔵館収蔵
11.5まで 石川県立美術館で展示

【勅撰絵巻群】伊藤若冲 18世紀 皇居三の丸尚蔵館収蔵
11.5まで 石川県立美術館で展示

The Imperial Household and Ishikawa: Brilliance of Elegant Beauty
Masterpieces from The Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shōzōkan

2023.10.14 (土) Saturday — 11.26 (日) Sunday
Closed: November 6, 2023 Hours: 9:30–18:00 (Admission until 30 minutes before closing.)

休館日: 11月6日(月) 開館時間: 午前9時30分～午後6時(入館は閉館30分前まで)
【第1会場】石川県立美術館 / 絵画・彫刻・書跡・刀剣 【第2会場】国立工芸館 / 工芸
主催: 石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構
共催: 北國新聞社 特別協力: 越くプロジェクト、読売新聞社、公益財団法人前田育徳会
後援: 石川県教育委員会、富山県教育委員会、福井県教育委員会、金沢市教育委員会、NHK金沢放送局、MRO北陸放送、石川テレビ放送、テレビ金沢、HAB北陸朝日放送

石川県立美術館 ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF ART
国立工芸館 National Crafts Museum

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭 2023

As part of Ishikawa Hyakumangoku Cultural Festival 2023
(The 38th National Cultural Festival, The 23rd National Arts and Culture Festival for Persons with Disabilities)

文化庁
UNION
UNI-VOICE

会期 2023(令和5)年10月14日(土)～11月26日(日)
会場 石川県立美術館／国立工芸館

開催趣旨

石川県立美術館と国立工芸館は今秋、皇室ゆかりの美術工芸品などを収蔵・展示する皇居三の丸尚蔵館の収蔵品による展覧会を開催します。本展は、石川県で行われる国民文化祭のメイン行事として開催するもので、三の丸尚蔵館の収蔵品のなかから石川ゆかりの作品と、名品の数々を厳選してご紹介します。

まず石川ゆかりの作品では、旧加賀藩主前田家から皇室に献上された国宝《金沢本万葉集》*、八条宮智忠親王に嫁いだ前田利常の娘・富姫^{ふうひめ}の婚礼調度と伝える狩野探幽《源氏物語図屏風》*、そして石川出身の近代工芸の名工である諏訪蘇山(初代)《青磁鳳雲文花瓶》**や松田権六《鷺蒔絵筥》**をはじめとする多彩な作品が並びます。

また収蔵の名品では、伊藤若冲の代表作・国宝《動植綵絵》*や、明治時代の金工の最高水準を示す海野勝珉《太平楽置物》**、そして皇太子(昭和天皇)の御成婚を祝して献上された《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》**など、優美で気品あふれる作品をご紹介します。

三の丸尚蔵館の収蔵品による展覧会は現在各地で開催されていますが、2館合同での開催は、全国初の試みです。第1会場の石川県立美術館では絵画や彫刻、書跡、刀剣を中心に、第2会場の国立工芸館では工芸を紹介し、その他にも石川県立美術館、国立工芸館、公益財団法人前田育徳会所蔵の関連作品を加えた、国宝・重要文化財を含む約120点という最大規模での展示となります。

*は石川県立美術館で、**は国立工芸館で展示予定。会期中、展示替えがあります。

開催概要

展覧会名称	第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭 2023 「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 一麗しき美の煌めき」
会期	2023(令和5)年10月14日(土)～11月26日(日) 前期展示:10月14日(土)～11月5日(日) 後期展示:11月7日(火)～11月26日(日) ※11月6日(月)は展示替休館
開館時間	9:30～18:00 (入館は閉館の30分前まで)
会場	石川県立美術館 (〒920-0963 石川県金沢市出羽町2-1) 国立工芸館 (〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2)
お問い合わせ	石川県立美術館 076-231-7580 https://www.ishibi.pref.ishikawa.jp/ 国立工芸館 050-5541-8600(ハローダイヤル 9:00～20:00) https://www.momat.go.jp/craft-museum/
主催	石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭 2023 実行委員会、 宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構
共催	北國新聞社
特別協力	紡ぐプロジェクト、読売新聞社、公益財団法人前田育徳会
観覧料	2館共通券: 一般 1,500(1,200)円、大学生 1,000(800)円 *高校生以下、18歳未満、障害者手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料 *()内は20名以上の団体料金・割引料金。いずれも消費税込 *65歳以上の方は団体料金・割引料金 *いしかわ文化の日(10/15)、文化の日(11/3)は団体料金・割引料金
特設サイト	https://ishibi-ncm2023.com/

《報道関係のお問い合わせ》

「皇室と石川」展 広報事務局(ユース・プランニングセンター内)担当: 大山、池袋

〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F

Tel:03-6826-8853 FAX:03-6821-8869 E-mail:ishibi-ncm2023@ypcpr.com

伊藤若冲、俵屋宗達、横山大観、海野勝珉などによる、 日本美術を代表する名品をあまた展示(展示替えがございます)

伊藤若冲が10年の歳月を掛けた連作、国宝《動植綵絵》は前後期2点ずつ、合わせて4点を展示します。ゆたかな色彩表現と緊張感を併せ持つ日本花鳥画の到達点をご覧ください。そのほか高階隆兼による鎌倉時代のやまと絵巻の最高峰、国宝《春日権現験記絵》や俵屋宗達、円山応挙、日本を代表する画家、横山大観や明治彫金を代表する海野勝珉の傑作も必見です。

展示館： ■ 石川県立美術館 ■ 国立工芸館



どうしよくさいえ
国宝《動植綵絵》
いとうじゃくちゆう
伊藤若冲

若冲自身が寄進した相国寺(京都)から、皇室に献上。動植物を精緻かつ濃密に描いた若冲芸術の到達点であり、代表作。全30幅あり。本展では展示替えしながら4点展示。

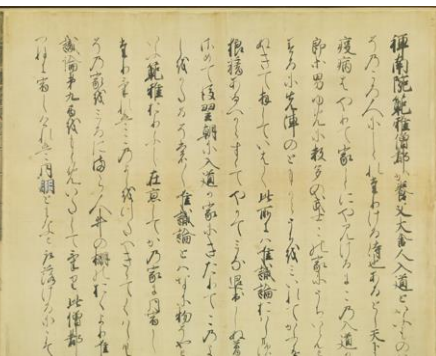
広報画像1



どうしよくさいえ ぼたんしょうきんず
国宝《動植綵絵 牡丹小禽図》 後期展示

広報画像2

どうしよくさいえ ぐんけいず
国宝《動植綵絵 群鶏図》 前期展示

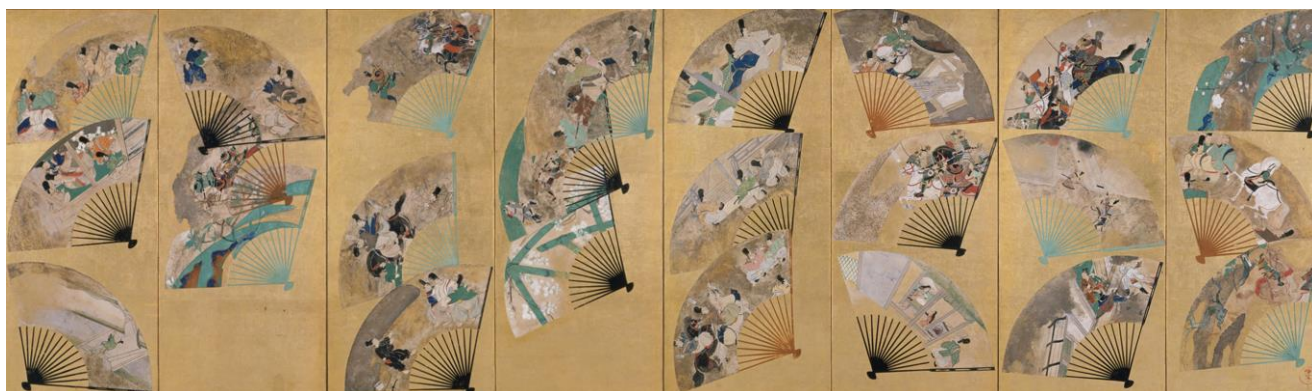


広報画像3

かすがこんげんげんき え たかしなたかかね
国宝《春日権現験記絵》巻八 高階隆兼 〈場面替あり〉

鷹司家から皇室に献上。鎌倉時代のやまと絵巻の最高峰として極めて高く評価されている作品。

見どころ1



広報画像 4

せんめんちらしびようが たわらやそうたつ
《扇面散屏風》依屋宗達 〈隻替あり〉

宮中伝来品。江戸時代を代表する画家、依屋宗達が制作した「扇絵」の代表作として高い評価を得ている作品。



広報画像 5

ぐんじゅうずびようが まるやまおうきよ
《群獣図屏風》円山応挙 〈隻替あり〉

江戸時代中期を代表する画家円山応挙が制作。宮中伝来の作。応挙が得意とした動物たちを個性豊かに描く。



広報画像 6

ふそうだいいっぽう よこやまたいかん
《扶桑第一峰》横山大観 前期展示

第1回文化勲章受章者。昭和3年の大礼に際し、衆議院より昭和天皇に献上。美しい墨色で表された荘厳な富士に真紅の朝陽が映えている。



広報画像 7

たいへいらくおきもの うんのしょうめい
《太平楽置物》海野勝珉

帝室技芸員・海野勝珉の代表作。宮内省の依頼により制作。パリ万国博覧会(明治33年)に出品された明治期の彫金の代表作。

宮殿を飾った絢爛華麗な工芸作品など、 石川にゆかりの名品を数々展示

明治期に輸出工芸の分野で名を馳せた金沢銅器会社によるからはなからくさまんぞうがんばんもりき《唐花唐草文象嵌花盛器》や、加賀象嵌の名工、山尾次吉による《諫鼓形香炉》など、石川県出身の作家たちがたずさわった宮殿装飾の数々が一堂に会します。献上後、初の里帰りになる品も多数展示され、工芸分野を牽引した煌めく石川工芸をお楽しみいただけます。

また、三代加賀藩主前田利常の娘・ふうひめ富姫が、八条宮智忠親王にとしただ輿入れした際に將軍家から送られた《源氏物語図屏風》など、加賀前田家と皇室の歴史を示す逸品も展示します。

展示館：■ 国立工芸館



広報画像 8

せいじほううんもんかびん すわそざん
《青磁鳳雲文花瓶》諏訪蘇山(初代)
帝室技芸員・諏訪蘇山(初代)による青磁の代表作。金沢出身。



広報画像 9

かんこがたこうろ やまおじきち
《諫鼓形香炉》山尾次吉
技巧を凝らした加賀象嵌(ぞうがん)の名品。明治33年の皇太子嘉仁(よしひと)親王(大正天皇)御結婚の折に、住友家より献上。金沢出身。



広報画像 10

さぎまきえびこ まつだごんろく
《鷺時絵筥》松田権六
昭和32年に、皇居仮宮殿の棚飾用品として制作委嘱された。一連の飾箱シリーズの最初の一つと位置づけられる。金沢出身。



広報画像 11

にわとりおきもの ゆきおゆきお
《鶏置物》由木尾雪雄
明治25年に、宮殿の装飾品の一つとして購入された漆芸作品。金沢出身。

見どころ2

展示館: ■ 石川県立美術館 ■ 国立工芸館



広報画像 12

げんじものがたりずびょうぶ かのうたんゆう
《源氏物語 凶屏風》狩野探幽 前期展示

三代藩主前田利常の娘・富姫(ふうひめ)が八条宮智忠親王(はちじょうのみやとただしんのう)に輿入れした際の婚礼調度。源氏物語五十四帖の総てが描かれている。



広報画像 13

からはなからくさもんぞうがんなはなもりき
《唐花唐草文象嵌花盛器》

金沢銅器会社が制作した花器。加賀象嵌の技術を継承する。



広報画像 14

まんざいらくおきもの
《萬歳楽置物》

とくだや そきち

徳田八十吉(初代)ほか

昭和3年の昭和天皇即位の礼に際し、小松市より献上。制作者のひとりである徳田八十吉は石川県小松出身。



広報画像 15

ちやしんちゅうさんぎんぞうがんぐんかくあしもんかびん
《茶真鍮 金銀象嵌群鶴草文花瓶》

みずのげんろく

水野源六(九代)

明治43年、皇太子(大正天皇)並びに同妃が東京・本郷の前田利為(としなり)侯爵邸へ行啓の際に献上。

国宝指定後初展示となる《金沢本万葉集》など、 皇居三の丸尚蔵館と前田育徳会の名品をコラボ展示

皇居三の丸尚蔵館には、前田家から皇室に献上された作品が所蔵されています。中でも2023(令和5)年国宝に指定の《万葉集巻第二 第四残巻》は《金沢本万葉集》として、つとに知られる名品です。本作をはじめ、旧加賀藩主前田家からの献上品とともに、本展出品作に関連する重文《百工比照》など前田育徳会の名品を併せて展示します。また、徳川家から皇室に献上された《刀(名物 若狭正宗)》と前田家に伝わる国宝《刀(名物 太郎作正宗)》が並ぶのも必見です。

展示館:石川県立美術館

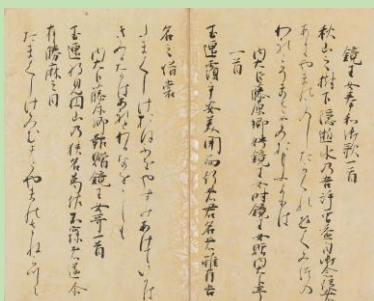
皇居三の丸尚蔵館

前田育徳会

かなざわぼんまんようしゅう

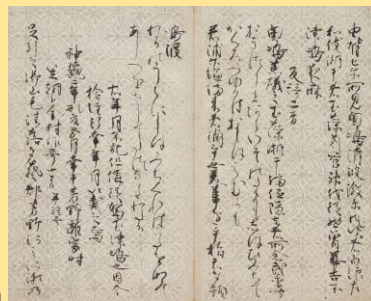
国宝《金沢本万葉集》 藤原定信 前期展示

2023年
国宝指定



広報画像 16

巻第二



広報画像 17

巻第六

明治天皇の前田邸行幸に際し、前田家に伝わる「金沢本万葉集」のうち第二と第四を仕立て直して献上し、手元に残った第三と第六の一部を仕立て直した。

2023年
国宝指定

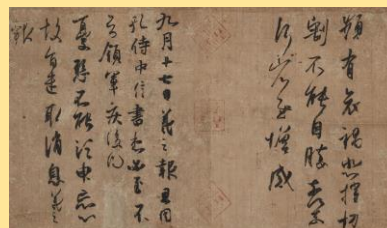
おうぎし

書聖 王羲之 後期展示



広報画像 18

そうらんじょう
国宝《喪乱帖》



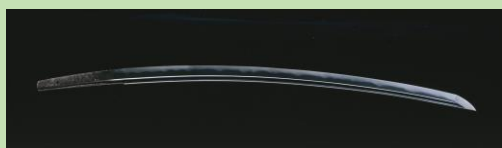
広報画像 19

こうじちゅうじょう
国宝《孔侍中帖》

書聖として名高い王羲之(中国4世紀)の真筆は、唐時代にすべて失われたとされる。ここに並ぶ二点は王羲之の書法を伝える精巧な模本で、今年国宝に指定された三の丸尚蔵館収蔵品と、前田育徳会所蔵の国宝が同時に展示されるのは、大変貴重な機会といえる。

名刀『正宗』

※正宗…相模国で鎌倉時代末期から南北朝時代初期に活躍した刀工。後世の刀工達の作風に多大な影響を与えた名工中の名工。



広報画像 20

かたな めいぶつ わかさまむね

《刀(名物 若狭正宗)》 後期展示

後世の刀工達に多大な影響を与えた名工「正宗」の作品の中でも、特に傑作であると評される名刀。



広報画像 21

かたな めいぶつ たろうさくまさむね

国宝《刀(名物 太郎作正宗)》

号は徳川家の家臣であった水野太郎作正重の所持に由来。正宗の作風を遺憾なく示した名刀。

展示館: ■ 国立工芸館

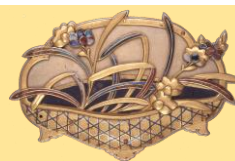
皇居三の丸尚蔵館



広報画像 22

しっぽうこうごう ほうそう げもんよう あんどうじゅうべい
《七宝香合 宝相華文様》安藤重兵衛
 七宝技法により鮮やかな色合いで宝相華文を表した気品ある香合。《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》附属の一品。安藤重兵衛は、近代七宝を牽引した。

前田育徳会



ひゃっこうひしろう はなかくぎかくし
重文《百工比照》「花籠釘隠」後期展示
 籠目部分に七宝技法が使われた江戸時代を代表する建築金具。彫金技法とあわせ近代以前の七宝技法の例として貴重。

重要文化財《百工比照》は五代藩主前田綱紀によって収集・整理・分類された工芸見本の集大成である。三の丸尚蔵館収蔵の明治期の七宝と、前田家に伝わる江戸時代の書院建築の七宝装飾を比較展示で味わえる。

近代工芸を代表する名品《御飾棚》が東京「外」で初展示！

皇太子(昭和天皇)の御成婚を記念して、内閣総理大臣以下文武官一同から昭和天皇ご夫妻へ献上され、これまでほとんど皇居の外へ持ち出されることのなかった秘宝「御飾棚(おんかざりだな)」。当時最高の技術を持った芸術家や職人たちによる空前絶後の工芸美を体現する棚が、初めて東京「外」へ持ち出され、そろって展示されます。

展示館: ■ 国立工芸館

広報画像 23



(部分)



広報画像 24



(部分)



ほうおうきくもんようまき え かざりだな つるきりもんようまき えかざりだな しまだよしなり
《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》《鶴桐文様蒔絵飾棚》島田佳矣ほか

当初から、「我が国の当代美術工芸品の最高峰」を目指して制作され、当時一流の技術をもった人々による制作チームが結成された。昭和天皇に献上された《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》には鳳凰が、香淳皇后に献上された《鶴桐文様蒔絵飾棚》には鶴が蒔絵で表されている。本頁掲載の2点(写真下)を含む品々も並陳し、献上当時の壮麗な姿を展示する。



広報画像 25

ちようきんようしきぶんほうぐ やまかわこうじ
《彫金洋式文房具》山川孝次(二代)
 金象嵌で唐草模様があしらわれた華やかな文房具セット。《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》附属の一品。作者の山川孝次(二代)は、加賀象嵌名門の出身。



広報画像 26

じきかびん かちょうもんよう いたやはざん
《磁器花瓶 花鳥文様》板谷波山
 薄いヴェールをとおして輝くような独特の釉薬使いが注目される。《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》附属の一品。板谷波山は、石川県ゆかりの作家。

「皇室と石川」展 広報事務局行

Tel : 03-6826-8853 FAX : 03-6821-8869 E-mail : ishibi-ncm2023@ypcpr.com

画像をご掲載の際には、下記クレジット表記、注意事項を順守いただけますよう、お願いいたします。

<画像使用・掲載に伴う注意事項>

- 本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- 展覧会名、会期、会場名、作家・作品名ほか画像クレジット（下記リスト参照）を必ず掲載してください。
- 作品画像は全図でご使用ください。トリミング、文字乗せ、切り抜きなどの画像の加工・改変・部分での使用はできません。紙媒体での画像使用は350dpiまで、WEB媒体での画像使用は72dpiまででお願いします。
- WEBサイトに掲載する場合は、コピーガードを施してください。コピーガード対応が出来ない場合には、別画像をご用意しております。別紙申請書にチェックのうえご提出願います。
- 本展会期中であっても、再放送や転載をされる場合はその都度申請くださいますようお願いいたします。
- 本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。
- 基本情報と画像使用の確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープを、本展広報事務局へ1部お送り願います。
- 画像使用後は、データの破棄をお願いいたします。

■ 広報画像（ご希望の画像にチェックを入れてください。）

✓	No.	【ご掲載時に必要なクレジット表記】
<input type="checkbox"/>	1	国宝《動植綵絵 群鶏図》伊藤若冲 18世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で前期展示
<input type="checkbox"/>	2	国宝《動植綵絵 牡丹小禽図》伊藤若冲 18世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で後期展示
<input type="checkbox"/>	3	国宝《春日権現験記絵》巻八 高階隆兼（場面替あり） 1309年頃 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で通期展示
<input type="checkbox"/>	4	《扇面散屏風》俵屋宗達（隻替あり） 17世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で通期展示
<input type="checkbox"/>	5	《群獣図屏風》円山応挙（隻替あり） 18世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で通期展示
<input type="checkbox"/>	6	《扶桑第一峰》横山大観 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で前期展示
<input type="checkbox"/>	7	《太平楽置物》海野勝珉 1899年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	8	《青磁鳳雲文花瓶》諏訪蘇山（初代） 1919年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	9	《諫鼓形香炉》山尾次吉 1900年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	10	《鷺蒔絵筥》松田権六 1958年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	11	《鶏置物》由木尾雪雄 1892年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	12	《源氏物語図屏風》狩野探幽 1642年 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で前期展示
<input type="checkbox"/>	13	《唐花唐草文象嵌花盛器》金沢銅器会社 1891年 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で通期展示
<input type="checkbox"/>	14	《萬歳楽置物》徳田八十吉（初代）ほか 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	15	《茶真鍮金銀象嵌群鶴葦文花瓶》水野源六（九代） 1910年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	16	国宝《金沢本万葉集》巻第二 藤原定信 12世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で前期展示
<input type="checkbox"/>	17	国宝《金沢本万葉集》巻第六 藤原定信 12世紀 前田育徳会収蔵/石川県立美術館で前期展示
<input type="checkbox"/>	18	国宝《喪乱帖》[原跡]王羲之 [搦摸]7-8世紀・[原跡]4世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で後期展示
<input type="checkbox"/>	19	国宝《孔侍中帖》[原跡]王羲之 [搦摸]7-8世紀・[原跡]4世紀 前田育徳会収蔵/石川県立美術館で後期展示
<input type="checkbox"/>	20	《刀（名物 若狭正宗）》 14世紀 三の丸尚蔵館収蔵/石川県立美術館で後期展示
<input type="checkbox"/>	21	国宝《刀（名物 太郎作正宗）》 14世紀 前田育徳会収蔵/石川県立美術館で後期展示
<input type="checkbox"/>	22	《七宝香合 宝相華文様》（鳳凰菊文様蒔絵飾棚附属棚飾品）安藤重兵衛 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	23	《鳳凰菊文様蒔絵飾棚》島田佳矣ほか 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	24	《鶴桐文様蒔絵飾棚》島田佳矣ほか 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	25	《彫金洋式文房具》（鳳凰菊文様蒔絵飾棚附属棚飾品）図案：千頭庸哉 制作：山川孝次（二代） 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示
<input type="checkbox"/>	26	《磁器花瓶 花鳥文様》（鳳凰菊文様蒔絵飾棚附属棚飾品）板谷波山 1928年 三の丸尚蔵館収蔵/国立工芸館で通期展示

■ 貴媒体についてお知らせください。

貴社名:			
媒体名:	掲載コーナー、特集名（ ）		
※WEB掲載を予定している場合はチェックをお願いします	コピーガード対応	可	不可
掲載月号:	月	日	発売（ ）号 / 発行部数 部
ご担当者名:	E-mail :		
連絡先:	電話:	FAX :	
チケット希望:	読者プレゼントとして5組10名分を		<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない
ご住所:	〒		

参考資料

宮内庁・石川県立美術館・国立工芸館同時発表
令和5年6月30日 15:00 解禁

令和5年6月30日
宮内庁長官官房用度課

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 - 麗しき美の煌めき -」について

標記のことについて、石川県立美術館及び国立工芸館において、別紙のとおり開催いたしますので、お知らせします。

問い合わせ先

長官官房参事官 朝賀 浩

用度課三の丸尚蔵館 文化財管理専門官 中坊 智

代表：03-3213-1111（内線：3601、3603）

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023
「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 - 麗しき美の煌めき -」 展覧会概要

1 展覧会の趣旨

三の丸尚蔵館では新施設が完成するまでの間、全国各地でより多くの方々に皇室文化に親しんでいただくため、三の丸尚蔵館の収蔵品を紹介する展覧会を実施します。令和5年度は秋田県、岡山県、茨城県と国民文化祭開催地である石川県において開催します。

石川県で開催する本展では、三の丸尚蔵館が収蔵する石川ゆかりの作品と、名品の数々をご紹介します。

2 展覧会の名称

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023
「皇居三の丸尚蔵館収蔵品展 皇室と石川 - 麗しき美の煌めき -」

3 展覧会の構成等（別紙参照）

本展は、三の丸尚蔵館収蔵品に、石川県立美術館、国立工芸館、公益財団法人前田育徳会等所蔵の関連作品を加えた約120点を、石川県立美術館と国立工芸館の二会場にて展示、皇室と石川をつなぐ美の世界をご覧ください。

石川ゆかりの作品では、旧加賀藩主・前田家献上の藤原定信「万葉集（金沢本万葉集）」（国宝）に、八条宮智忠親王に、前田利常の娘・富姫が嫁いだ際の婚礼調度と伝える狩野探幽「源氏物語図屏風」、そして石川出身の近代工芸の名工、諏訪蘇山（初代）「青磁鳳雲文花瓶」や松田権六「鶯蒔絵筥」をはじめとする多彩な品々が並びます。

また、書聖とうたわれた中国の王羲之の作品を写した「喪乱帖」（国宝）に、鎌倉時代絵巻の代表作、高階隆兼「春日権現験記絵」（国宝）、江戸時代の絵師・伊藤若冲の傑作「動植綵絵」（国宝）ら書画の作品に、明治時代の金工の最高水準を示す海野勝珉「太平楽置物」、そして皇太子（昭和天皇）の御成婚を祝して献上された「鳳凰菊文様蒔絵飾棚」といった工芸品をはじめとする、優美で気品あふれる名品の数々をご堪能いただけます。

4 展覧会期間等

会 期：令和5年10月14日（土）～11月26日（日）

前期：令和5年10月14日（土）～11月5日（日）

後期：令和5年11月7日（火）～11月26日（日）

※前後期で一部展示替えあり

休 館 日：11月6日（月）

開館時間：午前9時30分～午後6時（入館は午後5時30分まで）

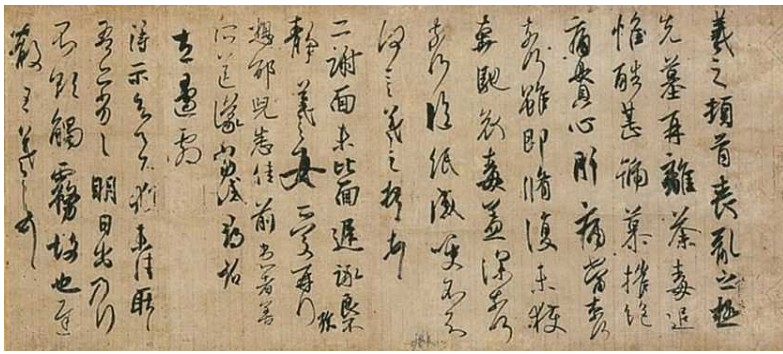
※10月28日（土）、11月3日（金・祝）、4日（土）、11日（土）、18日（土）、23日（木・祝）、24日（金）、25日（土）は午後8時まで延長（入館は午後7時30分まで）

5 主催 石川県立美術館、国立工芸館、いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、宮内庁、文化庁、独立行政法人国立文化財機構

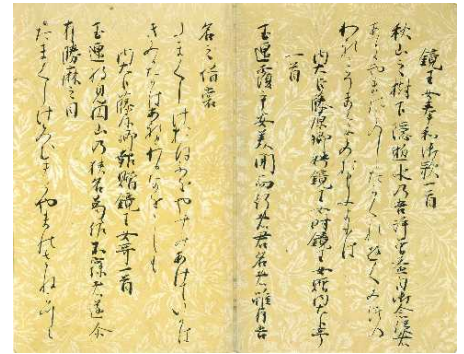
6 特別協力 紡ぐプロジェクト、読売新聞社、公益財団法人前田育徳会

7 会場 第1会場：石川県立美術館第7～9展示室（石川県金沢市出羽町2-1）
第2会場：国立工芸館展示室1～3、芽の部屋（石川県金沢市出羽町3-2）

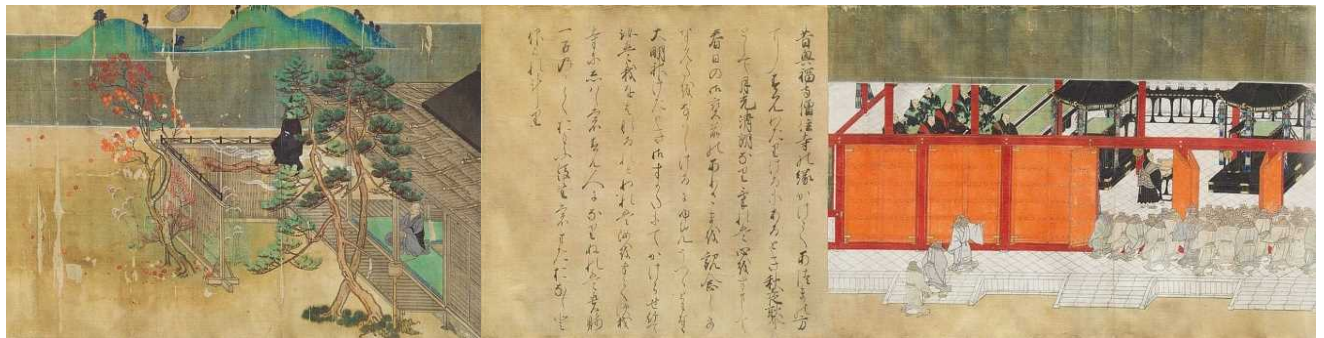
主な出品作品【第1会場：石川県立美術館】



1 [原跡]王羲之「喪乱帖」(国宝)



2 藤原定信「万葉集(金沢本万葉集)」卷第二(国宝)



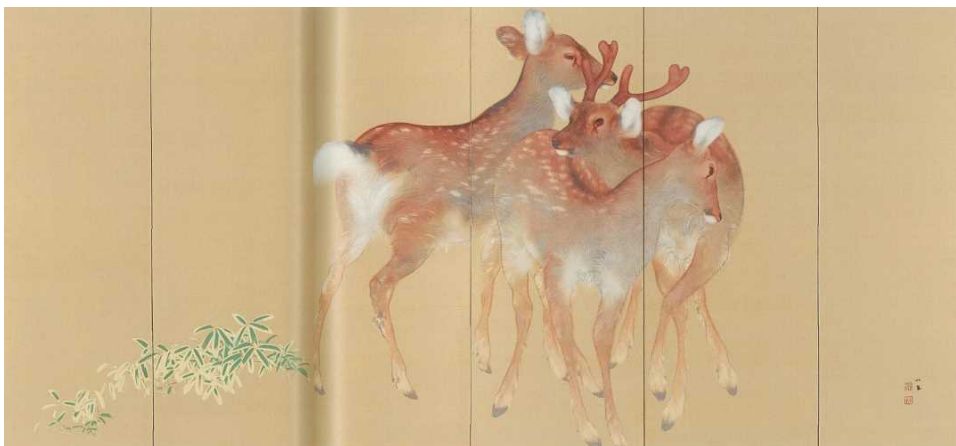
15 高階隆兼「春日権現験記絵」卷八(国宝)



19 伊藤若冲「動植綵絵(右:群鶏図、左:牡丹小禽図)」(国宝)



12 正宗
「刀(無銘 名物若狭正宗)」



24 竹内栖鳳「和暖之図」(右隻)

【第2会場：国立工芸館】



45 島田佳矣ほか「鳳凰菊文様蒔絵飾棚」



7 山尾次吉「諫鼓形香炉」



47 海野勝珉「太平楽置物」



30 松田権六「鷺蒔絵宮」



26 木村雨山「菊花友禅染小屏風」



1 諏訪蘇山(初代)「青磁鳳雲文花瓶」



5 徳田八十吉(初代)ほか「萬歳楽置物」



20 板谷波山「磁器花瓶 花鳥文様」

【皇居三の丸尚蔵館】

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
1	国宝 喪乱帖	[原跡]王羲之	1幅	[搨摸]唐時代(7~8世紀)・[原跡]東晋時代(4世紀)	紙本搨摸	縦26.2 横58.9	後期	
2	国宝 万葉集 卷第二・第四残卷(金沢本万葉集)	藤原定信	2帖	平安時代(12世紀)	紙本墨書	各 縦21.4 横13.3	前期	
3	古筆短冊手鑑		2帖(3帖のうち)	鎌倉~江戸時代(13~17世紀)	紙本墨書	各 縦24.6 横40.1	通期(半期で帖替)	
4	八體書	前田齊泰	8幅	明治時代(19世紀)	紙本墨書	各 縦135.0 横50.0	通期(半期4幅ずつ)	
5	墨竹図并賛	前田慶寧	1幅	江戸~明治時代(19世紀)	紙本墨書	縦134.5 横29.8	通期	
6	和歌色紙「水郷夏月」	青木新三郎	1幅	江戸時代(19世紀)	紙本墨書	縦21.8 横18.7	通期	
7	和歌二首詠草「若菜」	浅野屋佐平	1幅	江戸時代(19世紀)	紙本墨書	縦15.3 横42.5	通期	
8	扇面散屏風	俵屋宗達	8曲1双	江戸時代(17世紀)	紙本着色	右隻:縦112.0 横378.9 左隻:縦112.0 横377.7	通期(半期片隻)	
	下張文書		4通		紙本墨書		通期(半期2通ずつ)	
9	源氏物語図屏風	狩野探幽	6曲1双	江戸時代、寛永19年(1642)	紙本金地着色	各 縦166.6 横367.0	前期	
10	富嶽清見寺図屏風	狩野常信	6曲1双	江戸時代(17~18世紀)	紙本着色	各 縦169.5 横366.4	後期	
11	短刀(銘 正宗 京極正宗)	正宗	1口	鎌倉時代(14世紀)	鉄	刃長22.8 内反り	前期	
12	刀(無銘 名物若狭正宗)	正宗	1口	鎌倉時代(14世紀)	鉄	刃長68.5 反り2.4	後期	
13	負傷者を救助する乗馬兵	チャールズ・レオナルド・ハートウェル / C.L.Hartwell	1点	1916年頃	ブロンズ、 鋳造	高66.5 幅38.0 奥行29.0	通期	
14	十文字大皿	鴨政雄	1点	昭和7年(1932)	銀、鍛造	高5.8 径38.6	通期	
15	国宝 春日権現験記絵 卷八	高階隆兼	1巻(20巻のうち)	鎌倉時代、延慶2年(1309)頃	絹本着色	縦41.9 横945.8	通期(半期場面変)	
16	北野天神縁起絵巻 卷三、五		2巻(6巻のうち)	室町時代(16世紀)	紙本着色	卷三:縦34.6 横811.4 卷五:縦34.6 横1012.9	通期(半期巻替)	
17	をくり(小栗判官絵巻) 卷三、八	岩佐又兵衛	2巻(15巻のうち)	江戸時代(17世紀)	紙本着色	卷三:縦33.9 横1251.4 卷八:縦33.9 横1240.5	通期(半期巻替)	
18	群獣図屏風	円山応挙	6曲1双	江戸時代(18世紀)	紙本着色	各 縦168.5 横364.8	通期(半期片隻)	
19	国宝 動植綵絵(大鷄雌雄図、群鷄図、薔薇小禽図、牡丹小禽図)	伊藤若冲	4幅(30幅のうち)	江戸時代(18世紀)	絹本着色	大鷄雌雄図:縦142.3 横79.1 群鷄図:縦142.6 横79.7 薔薇小禽図:縦142.6 横79.7 牡丹小禽図:縦142.7 横80.0	【前期】 群鷄図 薔薇小禽図 【後期】 大鷄雌雄図 牡丹小禽図	
20	春庭秋圃	小室翠雲	対幅	大正8年(1919)	絹本着色	各 縦192.3 横57.1	前期	
21	日月鶴鷗図	西村五雲 西山翠嶂	対幅	昭和3年(1928)	絹本着色	月鷗図:縦50.7 横158.8 日鶴図:縦50.6 横159.2	後期	
22	扶桑第一峰	横山大観	1幅	昭和3年(1928)	絹本着色	縦70.6 横115.0	前期	

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
23	松鯉図	川端龍子	1幅	昭和13年(1938)	絹本着色	縦82.1 横115.0	後期	
24	和暖之図	竹内栖鳳	6曲1双	大正13年(1924)	絹本金地着色	各 縦162.4 横354.0	後期	
25	朝陽鳴鳳之図	小室翠雲	6曲1双	大正14年(1925)	絹本金地着色	各 縦161.5 横366.0	前期	
26	伊勢物語図時絵料紙箱・硯箱		1具	江戸時代(19世紀)	木製漆塗、蒔絵	料紙箱：高13.6 幅33.0 奥行41.0 硯箱：高5.2 幅25.6 奥行23.8	通期	
27	唐花唐草文象嵌花盛器	金沢銅器会社	2点	明治24年(1891)	銅、金、銀、象嵌	各 高28.5 口径60.5 胴径36.0	通期	
28	萬歳楽置物	像：高村光雲、山崎朝雲 鑄造：野上龍起 台：由木尾雪雄	1点	大正5年(1916)	ブロンズ、鑄造	像：高63.0 幅50.0 奥行48.0 台：高15.0 幅74.0 奥行57.0	通期	
29	釉下彩鳳凰図花瓶	香蘭社	1対	大正15年(1926)	陶磁	各 高45.5 径27.0	通期	
30	振威八荒之図	岸駒	1幅	江戸時代(18世紀)	紙本墨画淡彩	縦165.5 横92.4	前期	
31	蘭亭図巻	岸岱	1巻	江戸時代(19世紀)	絹本着色	縦41.2 横395.4	前期	
32	龍虎図屏風	岸岱	6曲1双	江戸時代(19世紀)	紙本金地着色	各 縦175.4 横361.8	後期	
33	旭日双鶴図	納富介次郎	1幅	明治27年(1894)	絹本着色	縦152.3 横74.4	通期	
34	秋郊野鶏図	鈴木華邨	1幅	明治43年(1910)	絹本着色	縦59.7 横84.0	通期	
35	御養蚕画帖	久保田米儒	1帖	明治時代(19~20世紀)	絹本着色	各 縦34.0~35.2 横28.7~29.3	通期 (半期頁替)	
36	花菖蒲	吉田秋光	1幅	大正~昭和時代(20世紀)	絹本着色	縦134.3 横50.8	通期	
37	椿図(景雲餘彩のうち)	北野恒富	1面	大正11年(1922)	絹本着色	縦32.0 横39.0	前期	
38	白鷹(瑞彩のうち)	北野恒富	1面	大正13年(1924)	絹本着色	縦28.5 横40.5	後期	
39	久米舞(青年画帖のうち)	山田敬中	1帖	明治27年(1894)	絹本着色	縦35.2 横32.8	前期	
40	富岳(瑞彩のうち)	山田敬中	1面	大正13年(1924)	絹本着色	縦28.5 横40.5	後期	
41	加賀地方花鳥図刺繍壁掛	図案：玉井敬泉、市川昌徳	2枚	昭和3年(1928)頃	刺繍	各 縦229.0 横138.0	通期	

【その他】

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	所蔵先
1	後水尾天皇宸翰 忍	後水尾天皇	1幅	江戸時代(17世紀)	紙本墨書	縦39.5 横56.0	通期	公益財団法人前田育徳会
2	天神画像	伝法性房 後水尾天皇賛	1幅	江戸時代、明暦3年(1657)頃	絹本着色	縦40.7 横34.8	通期	公益財団法人前田育徳会
3	国宝 搦手義之書(孔侍中帖)	[原跡]王羲之	1帖	[搦摸]唐時代(7~8世紀)・[原跡]東晋時代(4世紀)	紙本搦摸	縦24.8 横42.8	後期	公益財団法人前田育徳会
4	国宝 万葉集 卷第三・卷第六 残巻(金沢本万葉集)	藤原定信 (伝 源俊頼)	1帖	平安時代(12世紀)	彩箋墨書	縦21.4 横13.6	前期	公益財団法人前田育徳会
5	重要文化財 扇散時絵手箱		1点	鎌倉~南北朝時代(14世紀)	木製漆塗、蒔絵	高13.3 幅24.0 奥行34.2	通期	公益財団法人前田育徳会
6	「扇散時絵手箱」修復図	松田権六	1巻	昭和12年(1937)		縦27.2 横312.2	通期	石川県立美術館
7	国宝 刀(名物太郎作正宗)	正宗	1口	鎌倉~南北朝時代(14世紀)		刃長71.2 反1.8	通期	公益財団法人前田育徳会
8	国宝 剣 銘吉光	吉光	1口	鎌倉時代(13世紀)		刃長22.9 元幅2.2	通期	白山比咩神社 (県立美術館寄託)

【皇居三の丸尚蔵館】

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
1	青磁鳳雲文花瓶	諏訪蘇山 (初代)	1対	大正8年 (1919)	陶磁	各 高46.5 径24.0	通期	
2	青磁鳳雲文香炉	諏訪蘇山 (初代)	1点	大正8年 (1919)	陶磁	高15.5 径17.0	通期	
3	文乃友	諏訪蘇山 (2代)	1具	大正13年 (1924)	陶磁	筆筒：高11.4 径7.5 硯：高2.8 幅10.0 奥行14.2 硯屏：高11.7 幅12.2 奥行4.4 水滴：高5.9 最大径9.3 筆架：高3.0 幅10.5 奥行5.2 墨床：高2.5 幅6.3 奥行4.2 文鎮：各高2.8 幅10.7 奥行2.3	通期	
4	桃模様金黃釉花瓶	安達陶仙	1点	昭和6年 (1931)	陶磁	高32.8 径10.2	通期	
5	萬歳楽置物	徳田八十吉 (初代) ほか	1点	昭和3年 (1928)	陶磁	高26.5 幅21.5 奥行23.2	通期	
6	飾皿 靈峰交歓	浅蔵五十吉 (2代)	1点	昭和58年 (1983)	陶磁	高11.8 幅56.6 奥行57.0	通期	
7	諫鼓形香炉	山尾次吉	1点	明治33年 (1900)	彫金、木彫	総高45.3 幅29.5 奥行18.0	通期	
8	瓦片鳩	山田宗美	1点	明治38年 (1905)	鉄、鋳起	高30.0 幅25.0 奥行22.0	通期	
9	茶真鍮金銀象嵌群鶴羣文花瓶	水野源六 (9代)	1点	明治43年 (1910)	真鍮、金銀象嵌	高52.3 径35.5	通期	
10	黒地糸巻手箱	太田喜久太郎	1点	明治34年 (1901)	木製漆塗、蒔絵	高9.5 幅18.4 奥行24.2	通期	
11	鶏置物	由木尾雪雄	3点	明治25年 (1892)	木製漆塗、蒔絵	雄：高44.0 幅52.0 奥行16.0 雌：高25.3 幅22.0 奥行15.0 雛：高6.5 幅8.5 奥行5.5	通期	
12	狩獵耕作図蒔絵料紙箱・硯箱	澤田宗沢斎	1具	大正3年 (1914)	木製漆塗、蒔絵	料紙箱：高14.8 幅30.8 奥行40.0 硯箱：高4.8 幅21.8 奥行23.7	通期	
13	月日貝蒔絵香合	松岡珠道	1点	明治前期 (19世紀)	貝殻、蒔絵	高4.5 幅12.0 奥行12.1	通期	
14	雉子沈金衣裳篋	前大峰	1点	昭和7年 (1932)	木製漆塗、沈金	高10.0 幅84.5 奥行55.0	通期	
15	飛鶴沈金額	三谷吾一	1点	平成3年 (1991)	木製漆塗、沈金	縦32.0 横41.0	通期	

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
16	黒漆短冊箱	塩多慶四郎	1点	昭和58年(1983)	木製漆塗	高6.5 幅9.3 奥行39.6	通期	
17	平文輪彩提盤	大場松魚	1点	昭和58年(1983)	木製漆塗、平文、蒔絵、螺鈿	高11.2 幅25.8 奥行20.9	通期	
18	友禅唐獅子図衝立	木村雨山、小川寿山、池田作美	1基	昭和8年(1933)	塩瀬、友禅染、刺繍、桑材	高85.5 幅78.5 奥行21.5	通期	
19	彫金洋式文房具 (鳳凰菊文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	図案：千頭庸哉 制作：山川孝次(2代)	1具	昭和3年(1928)	彫金	高10.7 幅32.2 奥行19.9	通期	
20	磁器花瓶 花鳥文様 (鳳凰菊文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	板谷波山	1点	昭和3年(1928)	陶磁	高18.0 径14.5	通期	
21	蒔絵香盆 撫子花文様 (鶴桐文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	鶴田和二郎(2代)	1点	昭和3年(1928)	木製漆塗、蒔絵	高3.6 幅33.5 奥行24.5	通期	
22	磁器香炉 宝相華文様 (鶴桐文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	石野龍山	1点	昭和3年(1928)	陶磁	高10.6 径11.8	通期	
23	裁縫筥並二道具 (鶴桐文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	図案：島田佳矣 制作：木内半古、市島昌邦、堀井正文、吉村忠夫	1具	昭和3年(1928)	桐、象嵌	高11.1 幅24.2 奥行33.0	通期	
24	蒔絵色紙短冊筥 若松に雲雀 菊に鶉 (鶴桐文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	由木尾雪雄	1具	昭和3年(1928)	木製漆塗、蒔絵	色紙箱：高4.3 幅20.7 奥行23.5 短冊箱：高4.2 幅8.6 奥行39.0	通期	
25	洋式文房具 (鶴桐文様蒔絵飾棚附属棚飾品)	図案：島田佳矣 制作：江崎栄造、安藤重壽	1具	昭和3年(1928)	玳瑁、七宝	高9.5 幅30.3 奥行15.0	通期	
26	菊花友禅染小屏風	木村雨山	2曲1隻	昭和33年(1958)	絹、友禅染	高67.0 幅183.4	通期	
27	加賀友禅卓袱「万葉の花」	梶山伸	1枚	昭和58年(1983)頃	絹、友禅染	縦119.8 横177.0	通期	
28	秋海棠友禅染小屏風	談義所栄二	2曲1隻	昭和34年(1959)頃	絹、友禅染	高61.0 幅173.6	通期	
29	朱葉器	赤地友哉	1点	昭和33年(1958)頃	木製漆塗	高7.2 径6.9	通期	
30	鶯蒔絵筥	松田権六	1点	昭和33年(1958)	木製漆塗、蒔絵、卵殻	高11.0 幅25.3 奥行14.5	通期	
31	沈金芒絵飾筥	前大峰	1点	昭和33年(1958)頃	木製漆塗、沈金、真珠	高9.8 幅18.2 奥行13.6	通期	
32	捻瓢形徳利	徳田八十吉(2代)	1対	昭和33年(1958)頃	陶磁	各 高18.5 径8.6	通期	
33	桑木地飾棚	伊藤平左衛門(9代)	1基	明治40年(1907)	桑	高97.5 幅92.2 奥行41.7	通期	
34	獅子鈕銅印 (桑木地飾棚附属棚飾品)	鈴木長吉、中井敬所	3顆	明治40年(1907)	銅鑄造	各 高9.4	通期	

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
35	鶴亀置物 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	高村光雲、竹内久一	1対	明治40年(1907)	木彫彩色	各 高18.4	通期	
36	桜花白磁香炉 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	清風與平(3代)	1点	明治40年(1907)	陶磁	高11.7 径12.5	通期	
37	七宝双蝶香合 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	瀧川惣助	1点	明治40年(1907)	七宝	高2.4 長径6.7 短径6.4	通期	
38	古今集盞手蒔絵香盆 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	川之邊一朝	1点	明治40年(1907)	木製漆塗、蒔 絵	高2.9 幅33.6 奥行25.8	通期	
39	牡丹折枝図印筆筥鏡板 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	海野勝珉	1点	明治40年(1907)	彫金	高19.3 幅18.8 奥行 11.2	通期	
40	龍青華肉池 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	宮川香山(初代)	1点	明治40年(1907)	陶磁	高3.1 径10.0	通期	
41	蛇籠千鳥水滴 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	香川勝廣	1点	明治40年(1907)	銀、彫金	高1.4 幅6.1 奥行2.5	通期	
42	松波蒔絵硯箱 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	白山松哉	1点	明治40年(1907)	木製漆塗、蒔 絵	高4.8 幅22.5 奥行24.6	通期	
43	鹿鎮子 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	石川光明	1点	明治40年(1907)	牙彫	高11.0	通期	
44	古今集歌絵画帖 (桑木地飾棚附属棚飾 品)	川島甚兵衛(2 代)、 荒木寛敬ほか	1帖	明治40年(1907)	綴錦、絹本着 色	高5.5 幅36.5 奥行30.4	通期(半 期で真替 え)	
45	鳳凰菊文様蒔絵飾棚	島田佳矣ほか	1基	昭和3年(1928)	木製漆塗、蒔 絵、螺鈿	高155.5 幅153.5 奥行 50.3	通期	
46	鶴桐文様蒔絵飾棚	島田佳矣ほか	1基	昭和3年(1928)	木製漆塗、蒔 絵、螺鈿	高155.0 幅153.3 奥行 50.2	通期	
47	太平楽置物	海野勝珉	1点	明治32年(1899)	彫金、象嵌	高57.0 幅42.0 奥行 41.5	通期	
48	七宝飾皿 胡俗楽苑図 (鳳凰菊文様蒔絵飾棚附 属棚飾品)	稲葉七穂(2代)	1点	昭和3年(1928)	七宝	高2.2 径24.9	通期	
49	七宝香合 宝相華文様 (鳳凰菊文様蒔絵飾棚附 属棚飾品)	安藤重兵衛	1点	昭和3年(1928)	七宝	高2.5 径6.5	通期	

【その他】

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	所蔵先
1	銀象嵌丁字散文鏡	氏政	1双	江戸時代(18世紀)	鉄、銀、象嵌	高25.3 幅13.0 奥行 26.5	通期	石川県立美術館
2	真指定文化財 蒔絵螺鈿秋月野景図硯箱	伝 五十嵐道甫	1式	江戸時代(17世紀)	木製漆塗、蒔 絵、螺鈿	高4.5 幅22.3 奥行 24.3	通期	石川県立美術館
3	染付黄釉立葵図花瓶	宮川香山(初代)	1点	明治時代(19-20世紀)	陶磁	高41.8 径27.3	通期	石川県立美術館

No.	作品名	作者	員数	制作年代	材質技法	寸法 (cm)	展示期間	備考
4	金銀象嵌兜香炉	銅器会社	1点	明治10年(1877)	銅鑄造、象嵌	高62.5 幅42.5	通期	石川県立美術館
5	県指定文化財 鉄打出鳩置物	山田宗美	1点	明治42年(1909)	鉄、鋸起	高35.2 幅18.6 奥行 28.7	通期	石川県立美術館
6	蒔絵棕櫚に芭蕉図聯	川の邊一朝	1対	明治14年(1881)	木製漆塗、蒔 絵	各 縦108.0 横15.2	通期	石川県立美術館
7	平文輪彩箱	大場松魚	1点	昭和59年(1984)	木製漆塗、蒔 絵、平文	高12.3 幅 25.1 奥行 17.7	通期	石川県立美術館
8	重要文化財 百工比照 金具類の内 第六号箱 第七抽斗「鳥 籠釘隠」	—	1点	江戸時代	七宝	—	半期入替	公益財団法人 前 田育徳会
9	重要文化財 百工比照 金具類の内 第六号箱 第一二抽斗「虫 籠釘隠」	—	1点	江戸時代	七宝	—		公益財団法人 前 田育徳会
10	重要文化財 百工比照 金具類の内 第六号箱 第一六抽斗 「花籠釘隠」	—	1点	江戸時代	七宝	—	半期入替	公益財団法人 前 田育徳会
11	重要文化財 百工比照 金具類の内 第六号箱 第二〇抽斗 「花籠釘隠」	—	1点	江戸時代	七宝	—		公益財団法人 前 田育徳会
12	金銀象嵌環付花瓶	山川孝次(初代)	1点	明治10年(1877)頃	黄銅鑄造、象 嵌	高56.5 幅27.4 奥行 19.0	通期	国立工芸館
13	登録美術品 花鳥文様象耳付大花瓶	金森宗七	1点	明治25年(1892)頃	黄銅鑄造、象 嵌	高74.0 径42.3	通期	国立工芸館
14	沈金芒絵飾箱	前大峰	1点	昭和34年(1959)	木製漆塗、沈 金	高10.5 幅18.5 奥行 13.8	通期	国立工芸館
15	蒔絵鸚文飾箱	松田権六	1点	昭和36年(1961)	木製漆塗、蒔 絵、卵殻	高11.1 幅27.3 奥行 15.8	通期	国立工芸館
16	登録美術品 鉄地金銀象嵌人物図大飾 皿	駒井音次郎	1点	明治9-18年(1876-85)頃	鉄鑄造、象嵌	高5.8 径55.1	通期	国立工芸館
17	黄銅唐草象嵌船形花盛器	関澤卯市	1点	明治23年(1890)	黄銅鑄造、象 嵌	高28.5 幅79.0 奥行 31.0	通期	個人(国立工芸館 寄託)
18	梨子地青貝唐草内蒔絵料 紙箱・硯箱	川の邊一朝	1具	明治時代(19-20世紀)	木製漆塗、蒔 絵、螺鈿	料紙箱:高14.7 幅32.3 奥行41.5 硯箱:高6.5 幅21.0 奥 行25.2	通期	国立工芸館